

ANPO

A FILM BY LINDA HOAGLUND

監督・プロデューサー・リンダ・ホーグランド

撮影・山崎裕

編集・スコット・バージェス

音楽・武石聰、永井晶子

配給・宣伝・アップリンク

出 演

会田 誠 阿部合成
朝倉 摂 石井茂雄
池田龍雄 井上長三郎
石内 都 市村 司
石川真生 長濱 治
嬉野京子 長野重一
風間サチコ 浜田知明
桂川 寛 濱谷 浩
加藤登紀子 林 忠彦
串田和美 丸木位里
東松照明 丸木 俊
富沢幸男 森熊 猛
中村 宏 山下菊二
比嘉豊光
細江英公
山城知佳子
横尾忠則

作 品

佐喜眞加代子
ティム・ワイナー
半藤一利
保阪正康

僕は戦争が嫌だ、あんな馬鹿なことを絶対にしたくない。

—あの熱かつた時代の日本をアーティストたちはどう表現したのか—

1959.8
1960.2



2010 / color / video / 16:9 / 89 min

ANPO

A FILM BY LINDA HOAGLUND



■安保（日米安全保障条約）とは

一九五一年に日米間で交わされた条約。日本および極東の平和と安全を守る名目で、日本国内の米軍駐留を認めている。

一九六〇年、改正に反対した人々が起こした安保闘争では警官との衝突で死傷者が出了た。

今

から半世紀前の六十年安保当時、熱かった日本をアーティストがどのように表現したのか。一九六〇年六月に日米安全保障条約が岸信介政権下で自動更新されるまでの一ヶ月間、河野は安保に反対する市民のデモで溢れかえりました。

一九四五年的敗戦からまだ十五年しかたっていないその時代、学生、労働者、主婦など様々な立場の人が参加した

この運動を一つにした最大の原因は「二度と戦争をしたくない」という市民の強い意志だったことをアーティストたちは語っています。

現在も日本は、沖縄の普天間基地の問題など、安保に象徴される日米の関係を、根本的にはなにも問い合わせをせずに棚上げしてきました。『ANPO』は、日本で生まれ育ったアメリカ人のリングダ・ホーゲランド監督が、

六十年安保を知るアーティストたちの証言と作品を通して、日本とアメリカの関係の問い直しを日本人に迫るドキュメンタリーです。

◎世界的に日本の近代アートは映画を含めて高く評価されていますが、露骨に戦争の記憶や米軍基地問題と向き合った作品は殆ど知られていません。私は、世界にこの素晴らしい「文化遺産」を紹介したいと思ったと同時に、日本の若い人も知つて欲しいと思いました。

日本にも「抵抗」の歴史があり、その「抵抗」を世界級のアートとして表現し続けているアーティスト達がいることを。 — リンダ・ホーランド監督

——リンダ・ホーフラン監督——

9月18日[土] 渋谷アップリンクほか全国順次公開

当日料金：一般 1,500円／学生 1,300円／小・中・シニア 1,000円

作品お問い合わせ：アップリンク 03-6821-6821 www.uplink.co.jp

豊谷区宝田川町 37-18 トツネビル 03-6825-5502

渋谷東急本店右側道 200m 右手

